

龍谷大学における「仏教 SDGs」を通じた成果と課題（2022 年度）

2023 年 11 月 1 日

龍谷大学では、2020 年度から 2039 年度を計画期間として展開する将来計画「龍谷大学基本構想 400」における将来ビジョンとして、『まごころ～Magokoro～』ある市民を育み、新たな知と価値の創造を図ることで、あらゆる『壁』や『違い』を乗り越え、世界の平和に寄与するプラットフォームとなる」旨を掲げています。これは、まさに、持続可能な社会の実現を希求する計画といえます。

また、浄土真宗の精神を建学の精神とする本学では、阿弥陀仏が「すべての生きとし生けるものを決して見捨てない」と誓われた心（摂取不捨）と、SDGs が掲げる「誰一人取り残さない」という理念とに共通点を見出し、この仏教的な視点を通して大学構成員自らの自省と気づきを促す「仏教 SDGs」を掲げ、SDGs に資する諸事業を様々に展開しています。

これらを踏まえ、龍谷大学ならではのアプローチで SDGs の達成に貢献することを誓い、2022 年 2 月に「龍谷大学 SDGs 宣言」を発出するに至りました。

ここでは「環境」「経済」「社会」及び「パートナーシップ」の 4 つの区分に分類し、2022 年度の主な活動を通じた成果と課題をまとめました。各取組の詳細については [「龍谷大学の SDGs 取組実績」](#) をご参照ください。

龍谷大学基本構想 400 – 2039 年創立 400 周年を超えた未来に向けて –

<https://www.ryukoku.ac.jp/400plan/>

龍谷大学 SDGs 宣言

<https://www.ryukoku.ac.jp/sdgs/about/>

仏教 SDGs について

<https://retaction-ryukoku.com/concept>

龍谷大学の SDGs 取組実績

<https://www.ryukoku.ac.jp/sdgs/goal/>



「京都市脱炭素先行地域推進コンソーシアム」設立総会当日の様子

「龍谷大学基本構想 400」に掲げる多様な事業を展開する中で、学外・学内の様々な組織と連携し、コレクティブ・インパクトの創出に向けて取り組んでいます。

2022年6月28日から7月29日の間、本学が2011年に刊行した『龍谷大学戦没者名簿』関連のパネルを展示し、戦没者がどのように生きたのかを知り、平和について考える展覧「戦争と龍谷大学」と関連イベントを開催しました。ウクライナでの戦火が世界中に影響を与えている中、戦いの中で亡くなった方を偲ぶと共に、教育機関として平和に寄与する姿勢を改めて確認しました。

2022年12月、本学ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンターによる障がい者アート展”想像する文字展 Imagine Letters/Letters Imagine”を京都府立図書館と共催しました。内閣府が定める「障害者週間」に合わせて開催される、多様性や共生社会についてともに考えるプロジェクト令和4年度「CONNECT⇄」にも参画し、本学が掲げる「自省利他」のメッセージを打ち出しました。

また、2023年3月には京都市が主導する「京都市脱炭素先行地域推進コンソーシアム」に、

本学が「グリーン人材ワーキング」のリーダー会員として参画しすることになりました。京都市が環境省の「脱炭素先行地域」に選定されたことを受け、2030年度までに文化遺産、商店街、住まい等における電力消費に伴うCO2排出量ゼロの実現に向けた取り組みを進めるとともに、地域コミュニティの活性化を通じて地域課題の解決に貢献する地域脱炭素モデルの創出を目指します。

以 上